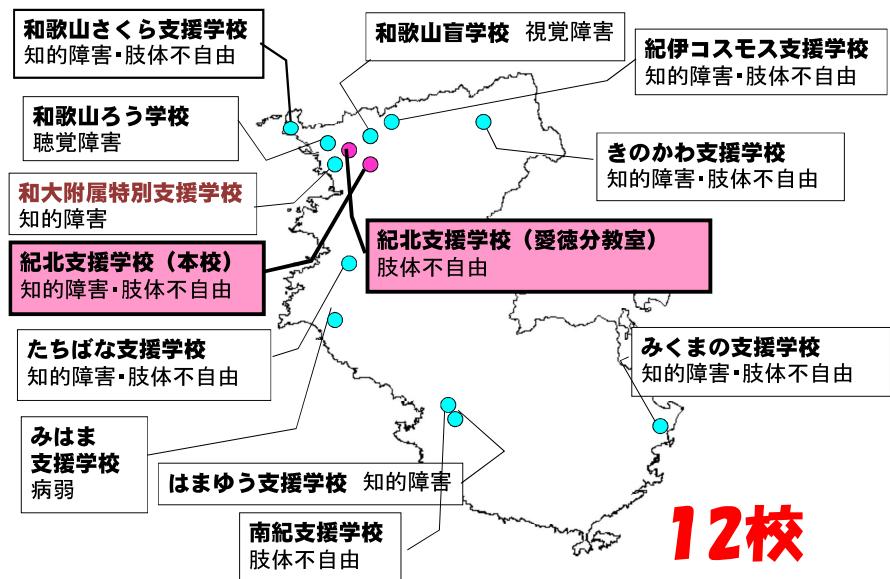


「進化！深化！新化！コロナ禍での挑戦（実践）」



和歌山県立紀北支援学校
高等部 主事 芝 大也

和歌山県の特別支援学校の設置状況



「目指す紀北の子供像」

『やさしく 明るく たくましく』

「他者にも自分にも優しく思いやりをもって、多様に変化していく社会を健康で明るく前向きに、自らもてる力をしっかりと出しつつ、どんな状況にも柔軟に対応しながら生きていく人に」という願いを込めて。

教育方針～紀北支援学校の教育～

一人一人の障害・発達・生活の実態を正しくとらえるとともに、教育的ニーズを把握し、すべての子供のもつ発達の可能性を最大限に伸ばし、子供を中心とし、将来を見据えた教育を創造する。よって、障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服し、社会の一員としての自立をめざし、明るくたくましくより豊かに「生きる力」を育む。

これまでの作業学習

- | | |
|------|--------|
| ①印刷班 | ⑤木工班 |
| ②縫工班 | ⑥園芸班 |
| ③紙工班 | ⑦クリーン班 |
| ④窯業班 | ⑧受注班 |

令和3年度 児童生徒数

- 令和3年5月1日現在

	小学部	中学部	高等部	分教室	合計
知的障害	98	49	77	0	224
肢体不自由	16	14	16	3	49
合計	114	63	93	3	273



高等部作業学習チャレンジ！

こんな製品を作りたい！

- 一度買ってくれた後、 次も欲しいと思ってもらえる
製品
 - 社会に通用する製品

子供たちには…

 - 生徒たちには、本物の大切さを理解させる。
 - 生徒たちが自らやる気を出し、活動できる作業
学習の現場に
 - 自分たちに何ができるか
→地域貢献へ

高等部作業学習チャレンジ！

- ・作業種の見直し
 - ・地域の人たちを
ゲストティーチャーに



作業学習のチャレンジ



木工班 木工施盤

作業学習のチャレンジ



園芸班 水耕栽培

作業学習のチャレンジ



受注班 エコボール納品
(向陽高校)

作業学習のチャレンジ



窯業班 ハイドロカルチャー



紙工班 一閑張り

作業學習のチャレンジ



園芸班 メダカ飼育

黒江めつた祭り



紀北支援学校高等部の作業學習

キホノシエン

- ①園芸班
- ②木工班
- ③クラフト班



- ④紙工班
- ⑤受注班
- ⑥クリーン班



19

園芸班

木工班

クラフト班



紙工班

受注班

クリーン班

20



作業學習

ついでに、あたたかく

太平洋の黒潮からくる温暖な気候 紀伊山地からなる豊かな緑と大地から生み出される星それらが人々の手によって、受け継がれてきました。
紀北支援学校では地域とのつながりを大切にした学びを大切にしています。

「先生、どうして作業学習があるの？」

将来のために、働くために、生きていくため……いろいろ理由はあるでしょう
「あなたはどうして作業学習を頑張っているの？」と質問に質問を返してしまいました。

「ていねいにして、お客様があつたかい気持ちになってくれるように

その時のあたたかく、でも嫌かな表情にトキッとした。

「誰かのために何かをすること何かができる喜び」
そんなかけがえのない取り組みを「密室」、そして丁寧に積み重ねること
みんなが「あつたかいたくなる」ことを願う かけがえのない「おこない」は
えきより 明日香 カミヨウ じんぶるを育む 頭をもぎ出す「密室」にたまへ／＼

キオウニエン

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

21



ていねいに、あたたかく

紀州材など国産の樹から 木になり 製品になる。
ひとつひとつ ていねいに 五感で 木のぬくもりを 感じながら

—
—
—



ついでに、あたたか



ていねいに、あたたかく

ミリ単位 グラム単位 正しく ていねいに
まかされた 責任が よろこびに変わってい



ていねいに、あたたかく

きれいな恋 きれいな恋♪ みんなが快適にすごせる環境を どとのえ
すると あたたかい 感謝の言葉が聞こえてくる





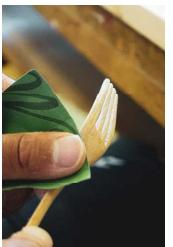
キボウシェン

高木吉郎下葉五



キボウシェン

高木吉郎下葉五



キボウシェン

高木吉郎下葉五



作業學習の共通目標

- ①仲間と協力しながら活動し、製品を作る喜びを味わう。
- ②見通しを持って活動し、物を作り上げていく楽しさを知る。
- ③道具や機械の使い方を知り、正しく安全に使う。
- ④製品を作り上げ、販売する喜びを味わう。



現状と課題



現状

- ・さまざまな経験が不足している。
- ・チャレンジしようとする気持ちが表れにくい。
- ・失敗に対する恐怖や嫌悪が強い。
- ・生徒は、「本当はちゃんとしたい」「みんなと一緒にしたい」が、行動・言動の調整が難しいのではないか。
- ・人に頼ったり、支援を受けたりする経験が少ないのでないのではないか。



29

今年度の取組

地域との連携による

- ①販売活動の充実
- ②メダ力を地域の小学校へ
- ③高校生との交流

販売活動の充実（四季の郷 道の駅）



31

県立図書館

地域へひろげる
活動①



作業製品の販売
(高野山観光情報センター)

地域へひろげる
活動②



メダ力を地域の小学校へ

令和3年10月7日
わかやま新報



岡崎小にメダ力贈る

を見学した複数のメンバーから「活気がない」「児童生徒の目的意識が明確でない」との指摘があつ

2004年版

れられたという。それを行きは好調で、これまでに、文章やイラスト、写真を使用して、やみやのいきなりこいつた道具がうま

名作選

●和歌山県立紀北支援学校
作業も学習に地域の伝統取り入れ
第35回 明治の学校は「教育農園」の発展④

れ
江戸時代には、400年ほど前に作られたとされる「山川の図」が、現在も現存する。これは、はるか古くから、東京の地理を記すために作られたもので、その中には、現在の東京の地図よりも、より正確な地図が描かれている。この図は、現在では、貴重な歴史的資料として、多くの人々によって、研究されています。また、この図は、現在でも、東京の地理を理解するうえで、非常に有用なツールとなっています。

は、全員がい

令和3年9月10日 内外教育 第6939号(時事通信社)

昨年度は…

12/4(金) 学校運営協議会

作業学習の見学が終わったあとで

岡田亜紀副会長より 「T&Mの30周年を記念する会があるので 紀北支援の作業学習でつくってみませんか」



T&Mとは 「 WakayamaT&M」

テクノロジー

T & M

和歌山県の
色んな会社
の集まり

マーケティング

令和3年5月
に記念大会が
あります



フォーク 3本
お皿 3枚
カッティングボード
バターナイフ

箱は買って用意し
ます。

全部で120セット

課題

地域の店舗等への
商品開発や発信

ありがとうございました。

